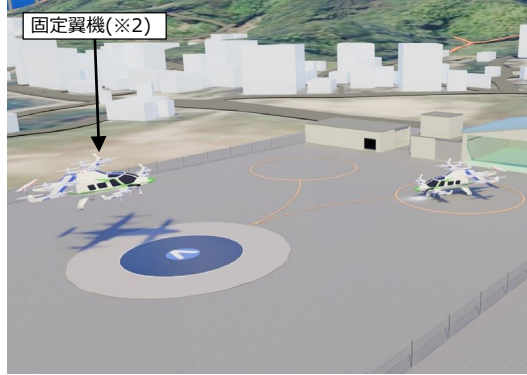
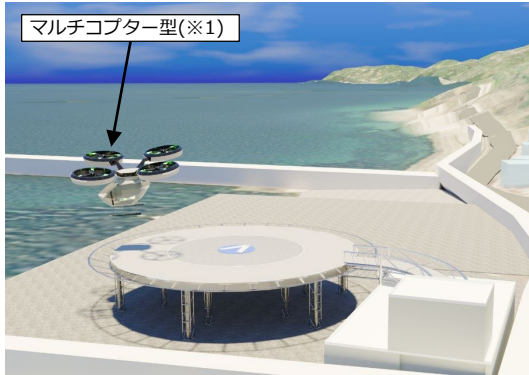


【バーティポート (VP) について】

- 空飛ぶクルマ専用の離着陸場を「バーティポート」(VP)と言います。
- ヘリコプターがヘリポートから飛び立つように、空飛ぶクルマも離着陸するためには一定の空間や設備を備えたVPが必要不可欠です。
- 空飛ぶクルマの垂直離着陸や静音性といった特性を踏まえ、**ビルの屋上や駐車場など比較的狭い空間や人口密集地帯へのVPの設置が可能となれば、空飛ぶクルマの利活用の可能性は大きく広がる**ことが期待されています。



※1 マルチコプター型：ヘリコプターのようにプロペラにより飛行(左図)
 ※2 固定翼機：飛行機のように翼を有した機体(右図)

【社会実装に向けた課題】

- 空飛ぶクルマの社会実装に向けては、①機体の開発 ②VPの整備 ③運航ルール等の確立などが必要となります。

【機体の開発について】

- ・世界各国で様々な機体の開発が進むとともに、厳しい安全基準が検討されています。**安全に、より遠くへ、速く、快適に飛行できる機体の実現**が求められています。
- ・**運航目的に適した機体の開発が必要**です。地域内の移動や少人数の遊覧飛行などの短距離飛行には小型のマルチコプター型が、都市間の長距離飛行やドクターヘリの代替には航続距離が長く十分な機内スペースのある大型の固定翼機が適しています。

【VPの整備について】

- ・空飛ぶクルマの離着陸に必要な空間や設備は機体によって異なり、**多種多様な機体の性能、大きさ、必要設備などに対応できるVPを整備**する必要があります。
- ・現在、国の設置する官民協議会において、VPの設置条件や必要な施設・設備の構成、性能、形状等に関する検討が進められています。

【運航ルール等について】

- ・空飛ぶクルマが高密度で飛び交う未来を実現するには、飛行機やヘリコプター、ドローンといった他のエアモビリティと飛行高度や空域を棲み分けるルールや管制が必要となります。
- ・多様なエアモビリティの現在位置や飛行速度、高度、ルートなどの情報を統合して、その**運航を総合的に管理・管制するシステムの開発**が必要となります。

- ★このほかにも、機体のメンテナンス体制やVPの管理運営、予約システムの整備、旅行商品の造成や保険の付保など、幅広いサービスが必要になります。
- ★これらは実現に向けた課題であるとともに、様々な分野で新たな産業や雇用を創出する事業機会でもあります。VPを拠点とした新たな賑わい創出も期待できます。
- ★**県民、事業者の皆様のご理解・期待・熱意が何より重要です！**



【問合せ先】
 愛媛県企画振興部政策企画局
 地域政策課交通政策室企画グループ
 TEL：089-912-2251 FAX：089-912-2249

【愛媛県HP】



愛媛県における「空飛ぶクルマ」運航ルート等調査結果の概要

【空飛ぶクルマとは】

- 「電動」「垂直離着陸」「自動操縦」の3つの特徴を持つ、空中を移動できる乗り物です。
- 車のように少人数で日常的に利用できる空の乗り物という意味で「空飛ぶクルマ」と呼ばれていますが、必ずしも道路を走行する機能を有しているわけではありません。



都市での人の移動



地方での人の移動



災害時や救急医療への活用



観光やレジャーでの活用

空飛ぶクルマには、色んな活用方法が期待できるんよ！



出展：経済産業省ウェブサイト
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/181220uamroadmap.html

【運航ルート等調査の背景及び目的】

- 愛媛県では、空飛ぶクルマの社会実装に向けて、以下の**ロードマップ**を作成しました。
- 現在は、ロードマップに基づき、県民や事業者の**空飛ぶクルマに関する理解を促進**するとともに、関係者間の**連携強化やニーズの把握**等に取り組んでおります。
- 2023年度は、空飛ぶクルマに対する県民の期待を高めるとともに、関係者の参入意欲を向上させることを目的とし、①県内外を結ぶルート、②県内各地を結ぶルート、③離島や半島、山間部など交通が不便な地域での利活用について調査を実施しました。

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)~
愛媛県の取組み	空の移動革命の取組開始 物の移動 人の移動	運航ルート等調査事業 ①物流ドローンの実証実験(誘致)	(調査事業を予定)	新しいビジネスの創出					
				①物流ドローンによる輸送の開始		②空飛ぶクルマの実証実験		②空飛ぶクルマによる人の輸送の開始	
				○シンポジウムの開催 ○推進ネットワークの構築、運営 ○住民の理解促進 ○市町の理解促進・参画促進 ○事業者の理解促進・参画促進	機運醸成、理解促進、関係者の連携強化 地域・事業者のニーズ把握、実証実験の誘致 課題の把握・整理、ビジネスモデルの調査 事業所マッチング、実証実験のサポート 各種インフラの整備、人材の育成...				<2020年代後半> 空飛ぶクルマの商用運航を目指す！

愛媛県における空飛ぶクルマ運航ルート案

凡例

県外離着陸場候補エリア

県内離着陸場候補エリア

県外ルート (案)

県内ルート (案)

交通不便地域
ルート (案)

ルート番号	
車による移動時間	空飛ぶクルマによる移動時間
(比較時の短縮時間)	

調査時の想定
飛行速度：240Km/h
航続距離：100km

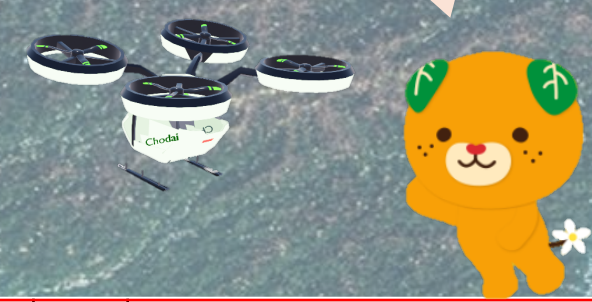
※飛行速度や航続距離は、現時点での想定です。今後の機体開発の状況や、運航時の諸条件により変動する場合があります。

岡山県岡山市
倉敷市

愛媛県の穏やかな気候は、空飛ぶクルマにピッタリなんよ！

- ★海や山を越えて、お隣の県へ！
- ★空の道で県内各地を素早く移動！
- ★空から眺める景色は最高やけん！

色々な利活用が期待できるんよ！



ルート番号	選定ルート	直線距離	飛行時間	選定理由
県外ルート	① 新居浜市 別子銅山東平エリア	岡山市 倉敷市	100km 25分	「東洋のマチュピチュ」と称される、山深くの産業遺産に空路で簡単アクセス。新幹線駅との結節も期待。
	② 今治市 しまなみ海道 多々羅スポーツ公園	広島市 呉市	55km 14分	瀬戸内海の多島美を空から楽しみながら「サイクリストの聖地」へ。インバウンド需要も期待できます。
	③ 松山市 道後温泉	広島市 呉市	67km 17分	愛媛と広島を短時間で結ぶ利便性の高いルートとして、観光とビジネス両面で多くの移動需要が期待できます。
	④ 伊方町 佐田岬	大分市	40km 10分	愛媛と九州を結ぶ玄関口。フェリー航路に加え「空の豊予海峡ルート」により九州各地との交通が一層便利に。
	⑤ 愛南町 南レク城辺公園	大分市	95km 24分	九州からの新たな観光ルートとして、インバウンド需要も期待。近くにはキャンプ場やプール、紫電改展示館も。
県内ルート	① 松山市 松山空港	西条市/久万高原町 石鎚山	38km 10分	西日本最高峰のパワースポット。登山口へのアクセス向上で、遠方からも日帰り登山が可能となります。
	② 松山市 松山空港	西予市/久万高原町 四国カルスト	47km 12分	山道を超えた先に絶景広がるカルスト台地へ、空路で簡単アクセス。高知県への移動の中継地点にもなり得ます。
	③ 松山市 道後温泉	今治市/久万高原町 多々羅スポーツ公園	46km 12分	日本最古の歴史を誇る名湯と高原の大自然をわずか12分ですぐ新たな観光の可能性が生まれます。
	④ 松山市 道後温泉	今治市/しまなみ海道 多々羅スポーツ公園	51km 13分	愛媛を代表する観光スポットを結ぶルート。サイクリングと温泉の組み合わせに高い観光需要を期待。
	⑤ 松山市 道後温泉	内子町 道の駅からり	35km 9分	人気の高い道の駅を拠点に、内子町に残る明治の街並みと道後温泉をつなぐ。更なる集客促進が期待できます。
	⑥ 松山市 道後温泉	八幡浜市 八幡浜港	55km 14分	道後温泉と、南予の柑橘・鮮魚等のグルメ・ショッピングが楽しめる道の駅を結ぶ。九州へのフェリーにも接続。
	⑦ 松山市 道後温泉	松野町 森の国ぼっぼ温泉	70km 18分	高速道路ICから遠い地理的な不利を克服し、温泉めぐりが楽しめるルート。インバウンド集客にも期待。
交通不便地域	久万高原町 柳谷地区	久万高原町 中心部	20km 5分	唯一の地域内移動モデルルート。買物や通院など日常生活における移動課題の解決に向けた利活用を想定。